

解 答 速 報

東海大学医学部 英語

2021年 2月3日実施

1	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問 10	問 11	問 12
	エ	ウ	イ	イ	ア	ウ	エ	ア	ウ	エ	ア	イ
	問 13											
	1	2	3	4								
	F	T	T	T								
2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	ウ	イ	イ	エ	ア	エ	ウ	イ	ウ	ア		
3	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	ウ	イ	エ	ア	エ	イ	ア	ウ	エ	ア		
4	1	2	3	4	5	6	7	8				
	ウ	イ	ア	ア	イ	エ	ウ	エ				
5	問 1	問 2	問 3	問 4	6	(1)	(2)	(3)	(4)			
	ウ	エ	イ	エ		ア	イ	イ	ウ			
7	(1) しかしながら、機械には人間の感情や心理を理解できないことからすると、人間の心に響く音楽を作ることは、機械にはできないことだろうと長らく考えられてきた。											
	(2) 音楽に造詣の深い聞き手[耳の肥えた聞き手]にとってできえ、人間によって作曲された作品と人工知能によって生み出された作品を区別することは意外なほど難しかった。											
8	(1) He is the main character in the famous children's story, where he spends a few days under the sea and finds when he comes back to this world that a few dozens of years have passed. 【別解】 He is the protagonist in the famous fairy tale, where he spent a few days on the sea bed and, coming back to this world, found himself missing many decades.											
	(2) This supported the theory he believed true, that supposing a spaceship travelling in zero gravity reaches the speed of light, the time inside will lapse much slower than that on Earth. 【別解】 This confirmed the theory he believed to be the truth, that if a spacecraft travels nearly as fast as light under no gravity, the time inside the spacecraft will pass far slower than that on the earth.											

1

問1 「第1段落によれば、*Rhinella marina* は_____である」

正解は、エ「オーストラリアにおける侵入生物」。第1段落第2文に「オーストラリアの歴史において、人の手によって持ち込まれた最も害のある生物種の一つである」とある。

問2 「第2段落の主たる目的は_____である」

正解は、ウ「*Rhinella marina* の導入の引き金となった問題について説明すること」。第2段落冒頭で「オオヒキガエルをオーストラリアに導入したのは、当地における問題によかれと思ってなされた反応であった」とあり、その後の2文で、オーストラリアのサトウキビ農業を脅かしていた *Dermolepida albohermim* という害虫が紹介されている。それに対処するべく BSES が設立されたことを述べて段落を終えている。次の第3段落では、BSES によるオオヒキガエルの導入へと話が継続していることを考え合わせると、ウが正解とわかる。

問3 「第3段落によれば、オオヒキガエルは1935年_____」

正解は、イ「～の7月を通じて、閉じ込められた状態で繁殖した」。第3段落第2文に「～、1935年の6月に彼らはハワイで採集した102匹のオオヒキガエルをオーストラリアに運び、その後の一か月間飼育環境で繁殖させ、8月に慎重に選定された区域で2,400匹を放った」とある。

問4 「第3段落において、(A)dissenting に最も近い意味は_____である」

正解は、イ「多数派とは異なった意見を持っている」。語形からの推測としては consent, assent で「同意、承認」という意味であり、接頭辞の dis- が「分離・反対・否定」に関わる意味があることを考え合わせると「反対する、同意しない」といった意味が予想できる。

問5 「第3段落の[1]に入れるのに最もふさわしいものは次のうちのどれか」

正解は、ア However。空所の前、第3段落第5文では「その年の末になって、反対意見の持ち主であったウォルター・フロガットは、オオヒキガエルそれ自体が手に負えない害獣となる可能性がある」と警告していた」と述べられている。それに続く第6文が「この警告は科学界の他の学者に無視され、その後の数十年間で個体数が爆発的に増加し、2020年には2億匹を超えるまでにいたったのだ」と述べられていることから、逆接の接続的副詞が必要だとわかる。

問6 「第4段落によれば、オオヒキガエルを駆除する物理的手段に関して正しくないのはどの文か」

正解は、ウ「オオヒキガエルを殺すことは、障壁を設けることよりも他の動物により大きな害をもたらすことになる」。この内容に該当する記述は見当たらない。アに関しては、最終文が根拠となる。イに関しては、第4文が根拠となる。エに関しては、第1文が根拠となる。

問7 「第5段落において、(B)proliferation に最も近い意味は_____である」

正解は、エ「広がること」。語形からの推測としては、語根の life が「生命」という意味であり、接頭辞の pro- が「前方・賛成・有利」に関わる意味がある。「生命を豊かに広げる、繁殖」といった意味が予想できる。

問8 「第5段落によれば、_____」

正解は、ア「オオヒキガエルを殺すために作られた GMO[遺伝子組み換え生物]は21世紀初頭に研究されていた」。第5段落第2文では、1990年代にベネズエラからカエルにとって致死的なウイルスを導入することが計画されたことが述べられている。それに続く第3文では「その後10年間で、*Rhinella marina* に対して致死性を持つように作られた遺伝子組み換え生物(GMO)が検査されたが、変異して在来種に伝播する危険があるとの理由で退けられた」とあり、GMO が検討されたのは2000年代、つまり21世紀初頭であることがわかる。

問9 「第6段落によると、フクロネコは_____」

正解は、ウ「過去にオオヒキガエルをエサとしたことで死んだ個体もいる」。第6段落第3文に「フクロネコはオーストラリアに固有の有袋類の動物で、オオヒキガエルを好むことからしばしば命を落とす結果となっていたが、これに関わる研究において、3分の2近くの個体がこのエサを食べ、そのうち40パーセントから68パーセントはその味を嫌悪するようになった」とある。

問10 「最終段落によると、筆者は_____と考えていることが推測できる」

正解は、エ「人類はそもそも土地の生態系に手を出すべきではなかった」。最終段落最終文に「こういった自然のもたらす解決策が示すように、人間がとる対策には危険で、思慮の至らないものがあるのとは違って、生態学的平衡を回復するのに最適であるのかもしれない」とある。

問11 ア「本文によると、オオヒキガエルについての研究は_____」

正解は、ア「『味覚嫌悪条件付け療法』は在来種の動物に利益があると示している」。第6段落第1文に「『味覚嫌悪条件付け療法』という新しい駆除戦略では、すりつぶしたヒキガエル由来の物質を致死未満量含んだソーセージという形で、在来種をヒキガエルの毒にさらす」とあり、この両方をフクロネコなどの在来種に対して行った結果第4文に「この手法は在来種の死亡数を減らすかもしれないが、ヒキガエルの数の増加を抑制するという点では何も成果がない」とある。

問12 「本文のタイトルとして最も適切なものはどれか」

正解は、イ「オオヒキガエルという私たち自身が生み出した問題」。第3段落までは「オーストラリアに持ち込まれたオオヒキガエルが繁殖してしまい、生態系を脅かす存在になったこと」について、第4段落以降では「オオヒキガエルの個体数を減らすために様々な方策が採られたが、決定的な解決には至っていないこと」が書かれている。

問13 「本文に従って、選択肢の文が正しければ“T”を、誤りならば“F”をマークしなさい」

- 「オオヒキガエルは100年以上の間、オーストラリアの生態系の一部である」
正解はF。第3段落第2文に「コフキコガネの数を減らそうとして、1935年の6月にハワイで収集された102匹のヒキガエルをオーストラリアに持ち込み～」とあることから、これは誤り。
- 「スポーツの器具を使ってオオヒキガエルを殺そうとすることは禁止された」
正解はT。第4段落第2文に「ゴルフクラブやクリケットバットでオオヒキガエルを叩き殺すという手段に出た住民もいたが、今ではその行為は2001年の動物保護法で違法とされている」とあることから、これは正しい。
- 「『条件付け味覚嫌悪策』には、オオヒキガエルから作られた餌が使われている」
正解はT。第6段落第3文に「オオヒキガエルを食べるとたいいて致命的となるその土地固有の有袋動物のフクロネコを使った研究では、3分の2近くがこの餌を摂取し、そのうち40%から68%が味覚に対する嫌悪を示した」とあることから、これは正しい。
- 「水生ネズミは毒のある臓器を避けることによってオオヒキガエルを食べることができる」
正解はT。第7段落第3文に「同様に水生ネズミは心臓と肝臓を取り除き胆嚢を避けることでその有害動物を餌にしている」とあることから、これは正しい。

2

- ウ will have been
未来を表す文であることに注目し for ten years 「10年間」という語句から未来完了形を用いる。
- イ did the study of plant anatomy progress
否定の副詞 not が文頭に出ているため、その後で倒置が起こる。よって、疑問文の語順になっているものを選ぶ。“progress”は動詞で「進歩する」
- イ had better not have

had better の後に完了形 have+過去分詞を置く。had better を助動詞と考え、後ろに動詞の原形が来るのはイのみ。“had better have 過去分詞” 「(今後) ~しておけばよかったということになるだろう、するほうがよいだろう」

4. ア having been set
the deadline を意味上の主語とした完了分詞構文。“having been set for the first of March” 「3月1日に設定されて」
5. ア much
the same を修飾できる語として much を選ぶ。“much the same” 「ほとんど同じ」
6. エ there
“For there to be so many concerns about the board’s decision is natural” 「理事会の決定について非常に多くの懸念があることは当然だ」 for there で to be 以下の意味上の主語を表す。There are so many concerns about the board’s decision. という文をベースにして不定詞句で書かれている。
7. ウ but
“but” 「～以外の」 “everyone but him” 「彼以外の全員」
8. イ protective
“be protective of～” 「～を守る」
9. ウ and
“Five minutes earlier, and I would have been able to catch the express train.” 「もう5分早ければ、急行に乗ることができたのに」。命令文 and...の形を連想する。“and” 「そうすれば」
10. ア what
“with what little energy she had left” 「彼女は残ったわずかの体力を振り絞って」 “what little 不可算名詞 S’ V’...” 「S’が V’する少ないながらもすべての不可算名詞」

3

1. ア the pot calling the kettle black 「自分のことを棚に上げて人を批判するような」
= hypocritical 「偽善的な」
一見正しいことをしているが、責任を他人になすりつけているという意味で「偽善的」という選択肢がふさわしい。
2. イ stains 「しみ」 = marks
エの polka-dots は、「水玉模様」の意
3. エ tormented 「さいなまれる、苦しめられる」 = troubled
4. エ witty 「機知にとんだ、気が利いて面白い」 = amusing
5. エ postulate 「～を前提とする」 = assume
6. イ rupture 「断裂」 = tear
7. ア carry out 「～を行う」 = perform
8. ウ obscure 「世に知られていない」 = unknown
9. エ cut corners 「手を抜く、経費・時間などを節約して安易な方法をとる」
= prioritize speed over quality 「品質よりも時間を優先する」
10. ア filled me in 「人に詳細な情報を伝える」 = explained what I had missed

4

1. ウ 「ジョスリンが “locked in” という場合、恐らく彼女は_____を意図している」
7つ目の Bert の発言に “So should we get started on your booking, then?” とあり、Bert がイベント会場の予約をすべきか否かを聞いた後、7つ目の Jocelyn の発言第1文に “I’d love to, but we haven’t locked in the launch date.” とあり、この文はパーティーの開催日がまだわからないということの意味すると予想できる。lock in は「決定する」。
2. イ 「対話によれば、イベント会場にかかる金額は_____」
3つ目の Bert の発言第3文～第4文に “As we discussed, you would have full use of the AV equipment at no extra charge, or the option of bringing your own. In the latter case, however, there’s no discount.” とある。備え付けの音響映像機器を使っても、自分のものを持ち込んでも料金が変わらないということが予想できる。
3. ア 「対話によれば、ジョスリンは_____」
9つ目の Jocelyn の発言第1文～第2文に “Wait—we have to do that, too? I’m not sure that really suits us.” とある。that は直前の Bert の発言にある clean up を指す。Bert は「自分が持ち込んだものを片付ける」という意味でこの言葉を用いたが、Jocelyn はこれを「会場を掃除する」と解釈をして、掃除することに難色を示していると予想できる。
4. ア 「対話によれば、イベント会場は_____」
6つ目の Bert の発言第1文に “The space is fully accessible : ramps and elevators here, barrier-free bathrooms over there, and priority parking downstairs on the street level.” とある。スロープ、エレベーター、バリアフリー対応トイレ、優先駐車場から、この施設が身体障害者にとって使いやすいということが予想できる。
5. イ 「対話によれば、Podcast Review について正しいのはどれか」
2つ目の Jonah の発言第1文に “Once a week, our program will review two podcasts chosen from the top ten recent releases and then rate them from lowest, at one star, to highest, at five stars.” とある。最新の上位10番組について批評をする番組であるということが予想できる。
6. エ 「ジョナが “hard hitting” という場合、恐らく彼女は_____を意図している」
4つ目の Jonah の発言第1文後半に “~, he asks a lot of hard-hitting questions that challenge his guests with their difficulty.” とある。ゲストを挑発するような厳しい質問であると予想できる。hard-hitting は「痛烈な」
7. ウ 「対話によれば、ティナがチャド・ラッセルのポッドキャストに3つ星を付けた主な理由は何か」
5つ目の Tina の発言第1文に “I’m not much of a sports fan, so I find the sports interview topics boring, ~.” とある。Tina がスポーツに興味がなくつまらないということが予想できる。
8. エ 「対話によれば、Modern Relationships の番組内容でないのは_____だ」
6つ目の Tina の発言第1文の “It covers different types of relationships: marital, friendship, family, and more.” はア「母の絆についての物語」に対応し、第2文の “There are personal essays read aloud by famous people ~.” は「有名人によるナレーション」に対応し、7つ目の Jonah の発言第1文の “The episodes are a reasonable length at 30 minutes, ~.” はウ「30分のエピソード」に対応する。

5

- 問1 ウ 指紋証拠について。“Fingerprints were used ~ as early as 300 BCE” 「指紋は紀元前300年から～用いられていた」が、1902年になって初めて “some British courts began to use fingerprint evidence” 「イギリスの法廷では指紋証拠が使われるようになった」。またこのイギリス法廷での使用が4の “This new practice” に対応する。3のみ現在に関する内容。よって 2 → 1 → 4 → 3 が正解。
- 問2 エ 石炭について。3では、石炭の肯定的側面が述べられており、2および4では否定的側面が述べられている。2の文中に however が、4の文頭に Furthermore があるので、3 → 2 → 4 とつながる。また1の “this ecological impact” は、4の “acid rain and global warming” を指すと考えられる。よって 3 → 2 → 4 → 1 が正解。

問3 イ カザフスタンでの紅茶の提供の仕方について。まず1の “In some countries” に対して2では “In Kazakhstan” について述べられている。2の “keeps the tea from getting cold” や “returning the empty cup” は、提供される紅茶が少ない場合に予想される結果なので、Thisは、4で述べられている、カザフスタンで “the cup is only one-quarter full” 「ティーカップの4分の1しか満たされていない」ことを指す。In fact, から始まる3は、付加的にカザフスタンでの紅茶の提供の仕方の極端な例を紹介している。よって1 → 4 → 2 → 3が正解。

問4 エ “phony” という単語の語源について。4の this trick は、2の “ring trick” 「指輪トリック」を指し、3中の2つの it は、4の “a cheap ring” を指しており、4 → 3で「指輪トリック」の具体的内容となる。これにより2 → 4 → 3とつながる。2 → 4 → 3は綴りが “phony” となる以前の内容と考えられるので、1は最後とすべき。よって2 → 4 → 3 → 1が正解。

6

- (1) ア 空所(1)を含む1文のおよその意味は、「フードバンクの数は～から変わらなかった」である。左のグラフと選択肢を見比べると、変化がなかったのは選択肢アの2014年から2015年である。よって “2014 to 2015” を選択する。
- (2) イ 空所(2)を含む1文のおよその意味は、「農業省によれば、需要が高まったことで新たなフードバンクの数が増加し、結果的に2018年には2013年の～倍のフードバンクができた」である。左のグラフから、2018年の60団体は2013年の10団体の6倍であることがわかり “six” を選択する。
- (3) イ 空所(3)を含む1文のおよその意味は、「2019年の小さなピークの後、2020年の食品ロス量は2013年の値の～にまで減らすことに成功した」である。右のグラフから2020年の400万トンは2013年の1200万トンの3分の1であることがわかり “one-third” を選択する。
- (4) ウ 空所(4)を含む1文のおよその意味は、「2020年は、食品ロスが600万トン以下であると報告されてから～年目というのも記録した」である。右のグラフ中で最初に600万トン以下となったのは2014年であり、それ以降600万トンを超えることはなく2020年は6年目である。よって “sixth” を選択する。

7

- (1) “~ what has long been thought impossible for machines to do ~” 「機械が行うことは不可能であるとながらく考えられていたこと」主語を構成する関係代名詞節内は、いわゆる tough 構文を含んだ5文型の受動態。
 “~ compose music that resonates with the human soul, ~” 「人間の魂に響く音楽を創ること」補語を構成する原形不定詞。文の主語に do が含まれるため原形不定詞で to 不定詞に代用できる。
 “~, given that they are incapable of understanding ~” 「機械は～を理解出来ないとすると」 they は machines を指す。given that ~ 「～だとすると」条件を表す接続詞。この副詞節は関係詞節内ではなく主文を修飾していることを示すために語順を工夫したい。
- (2) “~ listeners with a finely-tuned ear for music” 「音楽に造詣の深い聞き手たち」 with ~ 「～を備えた」 ear 「鑑賞力」
 “~ found it unexpectedly difficult to ~” 「～を意外に難しいと思った」形式目的語 it は to 以下の内容を指す。
 “~ distinguish between pieces created by a human and those produced by artificial intelligence.” 「人間によって創られた作品と AI によって生み出されたそれ」代名詞 those は pieces を指す。

8

- (1) 「童話」 a children's story / a story for children / a fairy tale など。
 「主人公」 a main character / a protagonist / a hero など。
 「海底」 under the sea / under water / on the sea bed など。英文3行目の表現を利用したい。
 「この世に戻ってきたときには」 when he comes back to this world find を修飾するよう語順に注意。
 「何十年」 a few dozens of years / many decades など。
- (2) 「無重力で」 in zero gravity / under no gravity など。
 「飛行する」 travel など。
 「宇宙船」 a spaceship / a spacecraft など。
 「光速に近づく」 reach the speed of light / travel nearly as fast as light など。
 「地球で」 on Earth / on the earth など。
 「はるかに遅く」 much slower / far slower など。
 「経過する」 lapse / pass など。
 「支持する」 support / confirm など。

講評

- | | | | |
|---|----------|-------|--|
| 1 | [長文内容一致] | (やや難) | 「オオヒキガエルの導入とそれによる環境被害」に関する英文。内容はやや馴染みのないもので、理解するのに少し時間がかかったかもしれない。設問は素直なものが多い。(ちなみにオオヒキガエルの話題は2009年の東京医科大学でも出題されている) |
| 2 | [文法四択] | (標準) | 典型的な出題内容で、しっかりと学習していれば得点しやすい。 |
| 3 | [同義表現] | (標準) | やや高度な知識を必要とする設問が含まれるものの、文脈で絞ることのできるものも含まれる。 |
| 4 | [会話長文] | (標準) | 会話の状況は読み進めれば把握できるとはいえ、情報を正確に拾っていく必要がある。設問の根拠は見つけやすい。 |
| 5 | [文整序] | (やや易) | 指示語や代名詞を判断基準にして答えを出すことのできる設問が多い。 |
| 6 | [図・グラフ] | (やや易) | 与えられたデータを正確に読み取る力を試す問題だが、特に難しさはない。 |
| 7 | [和訳] | (標準) | 「作曲ができる AI」に関する英文の2か所を和訳する問題。構造を把握しつつも、情報をうまく整理して日本語にする必要がある。 |
| 8 | [英訳] | (やや難) | 「ウラシマ効果」に関する英文の2か所を英訳する問題。文中に利用できる表現はあるものの、ある程度の語彙力が求められる。 |

大問構成、問題量及び難易度のいずれも例年並み。目標は65%

メルマガ無料登録で全教科配信! 本解答速報の内容に関するお問合せは… メビオ ☎0120-146-156 まで